

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和8年7月25日(土)、8月18日(火)		
事業名	親子ものづくり教室		
趣 旨	ものづくりの素晴らしさや楽しさを体感する場を提供することにより、生涯学習・文化芸術活動の振興と、さわやかちば県民プラザの周知及び利用促進を図る。		
会 場	2階 陶芸室		
対 象	小学生～中学生とその保護者		
申込方法	来所またはWeb 申込		
募集定員	12 組(24 名程度)	募集期間	令和8年6月16日から令和8年7月1日
参加者数	親子 12 組(31 名)	参加費用	1,500円
講師 等	「手びねり会」 山本 啓子 氏 その他補助員 12名		
実施内容	内容:陶芸教室 日程:7月25日 午後1時～1時05分:オリエンテーション 午後1時05分～1時20分:陶芸作品ができるまでの説明、注意事項 午後1時20分～1時50分:作陶デモンストレーション 午後1時50分～4時:作陶 午後4時～4時10分:片付け 午後4時10分～4時15分:アンケート記入、次回説明 午後4時15分～4時30分:記念品配付、終了 作陶の様子    8月18日 午前10時～10時05分:オリエンテーション 午前10時05分～10時30分:窯出し見学、作品鑑賞会 午前10時30分～11時プレゼント抽選会 午前11時～11時20分:アンケート記入、作品梱包、終了		
参加者 アンケート	【満足度100%】 作陶における感想 ○【保護者】・子供たちが楽しくすすんで手を動かしていてよかった。講師の皆さんが優しく、わかりやすくしていただけたので助かりました。		

	【3年生】2kgの粘土でこんなにいっぱい作れたのでびっくりしました。 【6年生】陶芸は思ったより細かいことに意識しているのだと思った。楽しかった。 【2年生】形を作るのが面白かった。またやりたい。 窯出しにおける感想 ○【保護者】普段体験できない体験を親子でさせていただき、とても良い機会となった。 【保護者】最後のゲームでの景品がとても豪華でびっくりしました。 【2年生】たくさん作れて楽しかったです。 【3年生】意外とうまくいってうれしかったです。 【6年生】期待を上回るぐらいの色付けでとてもうれしかったです。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「ものづくりの素晴らしさや楽しさを体感する場を提供すること」については、陶芸について親子で体験することにより、日常生活では体感することのない活動ができたので達成できたと考える。 ・当講座が学校の自由研究の課題提出にも生かしたという家庭があり、当講座が家庭教育支援にもなった。 ・参加費を前年度より500円下げ、1,500 円にしたことにより、前年度と比較すると応募者が15組増加した。(応募者は前年度 12 組、今年度は 27 組であった。) ・当講座を知ったきっかけは、学校の掲示物が4組、当所の掲示板とホームページが7組、公民館などが1組と、当所ホームページのイベント情報をチェックして参加を希望した家庭が多かった。さまざまな方法で広報周知を図った成果と考える。 【課題・今後の方向性】 ・「きょうだいで参加したい。」という要望を、当所へ連絡してきた家庭には「交代で参加可能。」とお伝えしたが、親子2名だけと思った家庭もあり、弟が1名参加したかったということを職員へ話した参加者もいた。次年度は当選家庭への連絡事項として「きょうだい全員で参加する場合は、施設定員の都合上交代での参加は可能である。」といった旨の連絡を行いたい。 ・次年度は、定期発送を利用したチラシ配付の広域化、チラシ作成時期の早期化、募集時期の延長等を検討して参加希望者の増加に計画的に取り組む。 ・窯出しに欠席した家庭が 5 家庭あったため、次年度は窯出しへの積極的な参加を呼びかけ、なるべく全参加者が窯出しに出席してもらうように改善策を検討したい。 ・講師陣への事前打ち合わせをより綿密に行い、参加者の主体性を尊重した作品作りへの指導と助言を行うように依頼を継続したい。 ・アンケートからもわかるように丁寧な指導、わかりやすい指導など講師に対しては好感度が高いが、指導員の高齢化が懸念される。今後は他サークルへも働きかけ、実施回数を増やすか、共同開催をするなどといった工夫が必要であると考えます。